

第5回「隈研吾 & 東川町」KAGU デザインコンペ入選作品

25-0022

Kyal Sin Moe (ミャンマー連邦共和国)



25-0128

結城健仁 (日本)



25-0481

Lee Junho (韓国)



25-0488

向蒼依 (日本)



25-0507

Lee jeong hwa, Kim mi sun
Kim na yoon, Kwak ye Ji (韓国)



25-0560

Wooseungjun (韓国)



25-0566

Lin Junxian、Ding An (中国)

RITSU-KYO

私たちが気づいたのは人が立っているとき、椅子は大抵使われていない。電話をしているとき、座りながらいるとき、少し休んで考え事をしているとき——椅子はたまたまに、空いたままそこにある。

「直」(RITSU-KYO)は、この時帯を用つて造られたものです。腰掛けの中央は振りやすき高さで設計され、重さもちょうどいい、立っているとき、ふと手に取り、両足が持ち上がる。その力は、少しずつ、自分自身の力になっっていく。漸進的なトレーニングではなく、日常に自然と取り込む習慣である。



- 空いても休まない
- ついでの一挙
- 体を鍛える



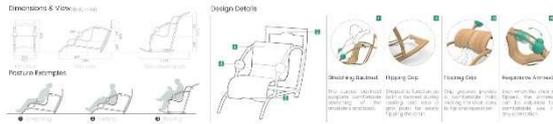
25-0569

Bae changwoo、Im seungsu (韓国)



25-0602

Dabin Choi、Minhyeong Lee (韓国)



25-0608

kim young hyun (韓国)

